

教育センターニュース

ミネルバ

130号

佐賀県教育センター

〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上

TEL 0952-62-5211(代) FAX 0952-62-6404

◎「ミネルバ」は教育センターWeb ページでもご覧いただけます。

掲 載 記 事

- 教育論文入賞者発表
- 講座授業の紹介
- ICT利活用支援
- 授業に役立つ実践研究

教育論文入賞者発表！

教育論文に多数の応募をいただき、ありがとうございました。
今年度は、審査対象論文の28点の中から、次のように入賞が決定しました。優秀賞及び優良賞の論文については、2月上旬にWebページに掲載します。来年も多数のご応募をお待ちしております。

校内研究の部

優秀賞	唐津市立加唐小中学校	校長 岸田 俊朗	研究代表 教諭 川副 暢
	自ら学び、「わかる」「できる」喜びを味わうことができる児童生徒の育成		
優良賞	白石町立北明小学校	校長 黒木 正孝	研究代表 教諭 里見 博章
	読書に親しみ、ともに高め合う子どもの育成		
	白石町立福富小学校	校長 田辺 義雄	研究代表 教諭 大曲 篤史
	自分の考えを豊かに表現できる子どもの育成		
奨励賞	多久市立西溪中学校	校長 今泉 弘	研究代表 教諭 立川 栄
	主体的に学びに向かい、関わり合いながら理解を深める生徒の育成		
	白石町立有明南小学校	校長 大川内 加代子	研究代表 教諭 石戸 伊佐子
	総合単元的な道德学習の創造		

個人・グループ研究の部

優秀賞	佐賀市立松梅小学校	教諭 松本 佳子
	国語科教育における「活用する力」を身に付けた児童の育成を目指して	
	多久市立中央小学校	教諭 古川 能正
	「読むこと」から思考力・表現力を育てる国語科の学習指導の研究	
	多久市立東部小学校	教諭 西村 雪彦
	主体的に運動に親しむ体育科学学習の在り方	
優良賞	玄海町立値賀小学校	教諭 山崎 耕成
	小学校体育科におけるICT機器利活用の有効性についての研究	
	唐津市立長松小学校	教諭 坂元 康一郎
	児童の科学的思考力・表現力を育てる理科授業の普及を図る理科専科の在り方	
	唐津市立馬渡中学校	教諭 卯津江 康憲
	小中一貫教育における社会科の思考力・判断力・表現力を育成する取組	
奨励賞	基山町立若基小学校	教諭 岡本 尚子
	教育相談・特別支援教育領域での教師のやりがい感の促進に関する研究	
	唐津市立名護屋小学校	教諭 金林 孝子
	知的障害を持つ児童への学習指導の工夫	
	嬉野市立大草野小学校	教諭 藤家 徹
	生命と向き合い感動する児童の育成	
	伊万里市立滝野中学校	教諭 竹邊 彰子
	関わり合い学び合う学習集団を育てる英語科指導の工夫	

講座授業の指導案やワークシートをご活用ください！

Web ページには、今年度の講座授業の中で使われた学習指導案やワークシート等を掲載しています。授業づくりのヒントに、校内研修の題材に、広くご活用ください。

今年度掲載した講座授業

アクセス方法【教育センターTOP ページ → 研修・講座 → 講座授業事例】

小学校：「国語」「社会」「図画工作」「外国語活動」「算数」「生活」「道徳」「特別活動」

中学校：「理科」「音楽」「美術」「技術・家庭(技術分野)」「英語」「道徳」

高等学校：「国語」「化学」「英語」「家庭」

上記の中から、3つの講座授業の様子を紹介します。

小学校図画工作Ⅰ講座 - 児童が作り出す喜びを味わう授業づくり -



2年生で工作題材の授業に取り組みました。ティッシュペーパーの箱の中に、自分の開きたいお店をつくりました。子どもの思いをふくらませ、よさを引き出すために次のような手立てを取りました。

①導入で、本時のねらいに関わった前時の振り返りを紹介し、意欲をもたせる。

②「形」「色」「イメージ」を視点とした話し合い活動で、自信をもたせたり、友達の活動からヒントを得たりさせる。

③いろいろな表現方法を試せるように、材料・用具を十分用意する。

この3つの手立てを取ったことで、子どもたちは発想や構想の能力、創造的な技能を発揮して、意欲的に活動し、最後まで工夫して製作することができました。



【表現方法を試す場】

中学校英語科Ⅱ講座 - ICTを活用した授業づくり -

1年生の3人称単数現在を扱う単元で、説明する力と質問する力を身に付けさせるために単元づくりを行いました。3人称単数現在では習得が難しいと考えられているため、言語活動の中で文法の定着を図りました。その手立てとして、次のようなことを行いました。

①単元を逆向き設計(目指す生徒像をゴールとし、それを起点に単元を計画すること)で構成する。

②帯活動と読解の場面においてICT機器を活用して理解を促す。

③目標とする姿に生徒を近付けるために授業者と学習者が判定基準を共有する。

これら3つの手立てを取ったことで、言語活動の中で文法事項を積極的に使おうとする姿、帯活動に意欲的に取り組む姿、本文内容の背景知識が活性化されていく姿が見られました。また、活動の前後に判定基準を確認する場面を設定したので、生徒の意欲の向上につながったと思います。

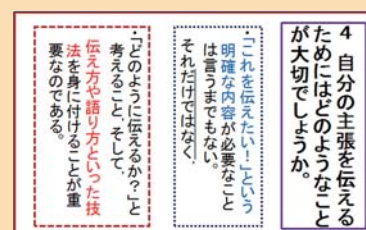


高校国語科Ⅱ講座 - ICTを活用した授業づくり -

2年生において、^{しんかん}秦観の『^{わいはいしゅう}淮海集』を教材にして漢文の授業を行いました。筆者の主張を正確に捉えることと、自分の意図を相手に正しく伝えるには論理構造や「伝え方」の技法が重要であると理解することが目標です。これらの目標を達成するために電子黒板を活用し、

①生徒が身近に感じる具体例を表示して、説明の方法を考えさせる。

②筆者が自分の意図を伝えるために使用している技法を図示して理解させる。といった手立てを用いました。今回の授業は、いずれ社会人として生きていく生徒が、相手意識をもって自分の意図を伝えたり相手の意図を受け取ったりすることができるように、そして「伝え方」「語り方」といった技法の重要性に気付くことができるようにという視点で実施しました。



【プレゼンテーション資料の一部】

ICT利活用教材を授業で使ってみませんか

Webページでは、高等学校向けに、ICTを活用した授業展開例として、その教材等を公開しています。これは、教育センター「ICT利活用に関する支援及び実践研究」に伴うもので、今年度は「国語総合」「日本史B」「数学Ⅱ」「物理基礎」「物理」「化学基礎」「化学」「生物」「家庭基礎」「社会と情報」で取り組んでおり、随時追加更新しています。

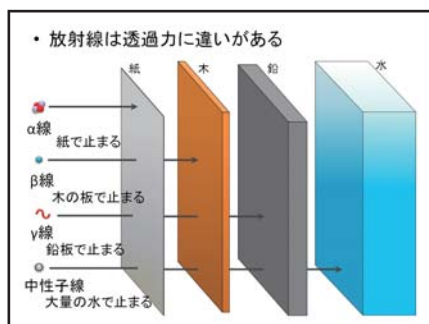
また、小中学校向けには、ICTを活用した具体的な授業の様子が分かる授業実践事例集（動画あり）を掲載しています。平成23年以来取り組んできた成果に加え、3月には新たに小学校「国語」「算数」、中学校「英語」を公開します。



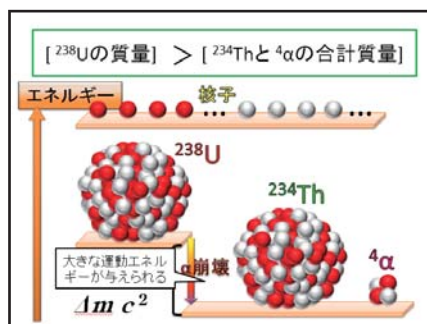
アクセスはこちらから

◎高校「物理」におけるICT教材の一部を紹介します

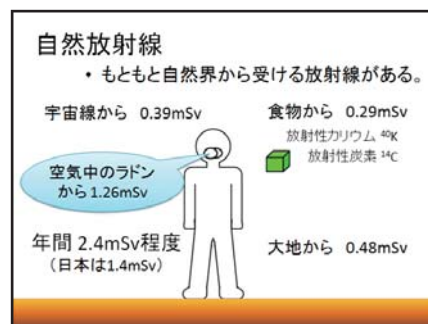
放射線を理解するための教材です。3つの段階から構成しており、最初にA「簡単な放射線の性質」、次にB「原子核・核力の基本的な性質から原子核崩壊の起きる仕組み」をはさみ、最後にC「詳細な放射線の性質」をまとめました。Bの部分は、素粒子・原子核分野に関心の高い生徒のアドバンス教材になりますが、AとCのみで放射線についての基礎的な解説を行うこともできます。また、放射線に関する物理量・単位やメディア等で使われる用語を基礎から理解するための自学用教材としての活用も可能です。



A 簡単な放射線の性質の一画面



B 原子核・核力の基本的な性質から原子核崩壊の起きる仕組みの一画面



C 詳細な放射線の性質の一画面

◎高校「家庭基礎」におけるICT教材の一部を紹介します

食事摂取基準の学習で活用できる教材です。生徒一人一人がタブレットPCを活用して、必要事項を入力することで、自分の標準摂取エネルギー量や標準体重、BMIを効率的に知ることができます。さらには、家族の標準摂取エネルギー量との比較を、茶碗のご飯に換算して表示できるため、他者と自分の食べる量の違いがイメージしやすくなります。また、この教材は中学校技術・家庭(家庭分野)や食育の指導においても活用できると考えています。

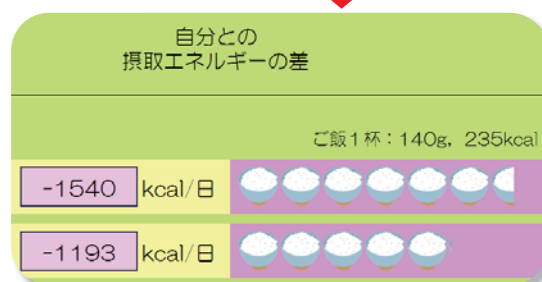
家族の摂取エネルギーを知ろう									
名前	性別	年齢	身体活動レベル	身長(cm)	体重(kg)	標準体重	現在の体重と標準体重との差	BMI	標準摂取エネルギー(kcal/日)
自分 ひろし	男性	15~17歳	高い	175	70	67.4	2.6	22.9	3549
家族1 母	女性	30~49歳	ふつう	155	50	52.9	-2.9	20.8	2009
家族2 妹	女性	12~14歳	低い	158	45	54.9	-9.9	18	2356

自分 ひろし 男性 15~17歳 高い 175 cm

家族1 母 女性 30~49歳 155 cm

家族2 妹 女性 12~14歳 低い 158 cm

家族3 女性 50~69歳 70歳以上



授業に役立つ実践研究

教育センターでは、各学校の先生方に役立つ研究情報を発信しています。この中では、授業に役立つ教材や指導方法の開発等の実践的な研究を行い、その成果を提案しています。現在、途中経過を Web 公開中です。今年度の研究成果は 3 月に Web ページに掲載します。ご覧ください。



〈 小・中学校社会科 〉 1/2 年次

テーマ 小・中学校社会科における思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業の在り方

「意思決定を取り入れた討論型の学習」で、未来を生きる児童生徒が社会について自分の考えをもつようになる授業の在り方を提案します。社会について語るべき問題とは何か、どのようにして考えをもたせたらよいかを小・中学校の先生方と研究しています。今年度は大山小、旭小の 2 校での研究授業を公開しました。

3 月には、他の小・中学校での実践も含め、「取り上げるべき問題の整理」「問題を明解にする手立て」「取り組みやすい授業の在り方」など、授業が楽しく活気付く指導のポイントを紹介します。社会科における思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業に取り組んでみませんか。

〈 高等学校特別支援教育 〉 3/4 年次

テーマ 高等学校における特別支援教育の推進

10 月上旬から下旬にかけて、「生徒が学びやすい学習環境を取り入れた授業」を行いました。授業過程において、必ず授業の初めに学習の見通しを提示して、授業の最後に生徒が学習した内容を振り返る活動を設定するようにしました。他にも取り入れた学習環境としては、例えば、書くことが苦手な生徒に対して、書く量を調整したワークシートを利用した指導等の実際を提案しました。

3 月には、授業の展開例や学習環境の工夫等についてより詳しくお知らせしたいと考えています。また、先生方の授業に生かしていただけるように、「学びやすい学習環境づくりの手引き」も発信します。



〈 小・中学校 校内研究の在り方 〉 1/2 年次

テーマ 学校力を高める小・中学校の校内研究の推進・充実

県内公立小・中学校における校内研究の推進・充実に図るための研究に 2 か年計画で取り組んでいます。8 月に校長先生と研究主任の先生を対象に、校内研究に関する実態調査を全小・中学校で行いました。結果は、現在公開しています。また、この結果を基に校内研究の現状と課題を把握し、実態に応じた校内研究の進め方について研究を進めました。

3 月には、各学校における校内研究の成果を先生方一人一人が教育活動に生かすことを目指した、「年間を通しての校内研究の進め方」や「授業研究会等の進め方」についての具体的な方策を提案します。

〈 中学校道徳 〉 1/4 年次

テーマ 豊かな人間関係を築く力を育む道徳の時間の研究

豊かな人間関係を築く力を育む道徳の時間を目指して、研究に取り組んでいます。豊かな人間関係を築く力とは、他者の存在の独自性を認め、他者の考えや立場を尊重し、他者との関係を大切にしようとする力のことであると考えました。多様な個性を認め、それぞれの差異を尊重する内容項目 2ー(5)を複数時間(3 時間)扱いにし、第 1 学年で授業実践を行いました。第 1 次と第 2 次の実践については、現在 Web 公開しています。

3 月には、複数時間扱いの授業の考え方や計画等について提案します。



〈 小・中・高等学校教育相談 〉 1/4 年次

テーマ 児童生徒一人一人が居心地のよさを感じる学級集団づくり

児童生徒一人一人が居心地のよさを感じることができる学級づくりを目指して、研究に取り組んでいます。居心地のよさを感じることができる学級集団とは、児童生徒が安心して過ごすことができ、互いのよさや特徴を認め合うような人間関係が育っている学級集団のことであると考えました。

3 月には、アンケート及び日頃の教師の観察による学級の実態把握に基づいて、構成的グループエンカウンターやグループワークトレーニング、ソーシャルスキルトレーニングといった開発的・予防的生徒指導を中心に小・中・高等学校別に授業実践を行い、意図的・計画的な学級集団づくりの提案をします。